

新型コロナウイルスの感染収束に向け科学的で正確な情報提供を求める



自由民主党西東京市議団 富永 雄二

問 メディアがPCR検査陽性者数を感染者数として報道し不安を煽っていることに憂慮している。本市の感染者数のカウントについて問う。

答 PCR検査陽性者数をそのまま感染者数とはしていない。感染者数は医療機関から発生の届出があり、保健所に報告された方の人数である。

問 ワクチン接種をすれば感染しない、他の人にうつすこともないと誤解をされている方も少なからずいる。ワクチン接種の効果についての情報提供はどのようにになっているか。

答 ワクチンには発症予防と重症化予防に対する効果が期待されている。ワクチン接種が進んでいる地域でも最近では感染者が大きく増えていることから、感染予防の効果については慎重に見極める必要がある。ワクチンを接種した後も引き続き感染予防

対策をお願いしたい。

意見 ワクチン接種をしたいが身体の事情で接種できない方や自身の判断で接種を希望されない方もいる。行政はそのような方々の声にも丁寧に寄り添う必要があると考える。

その他の質問

- ◇若年層の感染拡大
- ◇感染拡大と待機児童数の関係
- ◇エコプラザ西東京の使用料



COVID-19流行下における自殺対策について



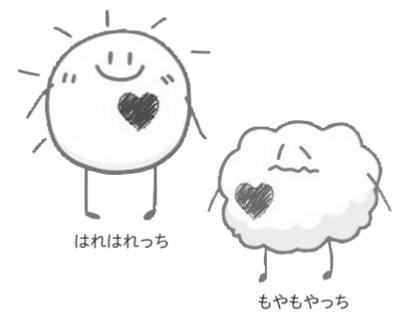
自由民主党西東京市議団 中川 清志

問 全国的に、昨年度、小学校では夏休み明けの自殺者が多くなった。また、COVID-19の影響により、女性及び若者の自殺率が増加している。本市の対策・課題について問う。

答 LINEを活用した相談事業、アカウント名「こころHaLe・HaLe@西東京市」を7月28日から、毎週日・水曜日、18時～22時まで、本市在住の概ね18歳から39歳までの方を対象として実施。8月20日現在、登録者数56件、相談件数8件。産前産後ケアは、令和2年11月に、子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期から「切れ目のない支援」体制強化を図っている。新生児訪問は、コロナ禍において、重要度が高まっている。深刻化する産後うつ等の問題に、より丁寧に対応するためには、利用者ニーズ及び地域資源の

把握、財源の確保等が課題。

2学期当初の教育活動においては、児童生徒に対して命について考える授業を行うことが重要であると認識している。命の教育は、「特別の教科道徳」や保健体育科の中で、発達の段階に即して指導している。産婦人科医、獣医師会、助産師会等専門家のお力添えをいただきながら、命を大切に育む気持ちを育てていく。



コロナ対策に全力で取り組み！市民のいのちと暮らしを守れ！



自由民主党西東京市議団 酒井 ごう一郎

プレミアム応援券事業について

問 弾力的な運用の判断時期は。

答 4カ月の事業期間での利用が不利にならないように運用について判断をしたい。

意見 購入された方、参加店にお知らせする期間を考えると10月中旬には判断すべき。また、食事券の有効期間の延長や、買物券にも転用して使えることも検討すべきと考える。

エッセンシャルワーカー支援について

問 以前にも制度構築について取り上げたが現在の事業進捗は。

答 事業所814、対象従業員1万2,701人に対して引き換え配布を実施した。

意見 本事業は他市では行っていない独自の支援だ。感謝の気持ちをお伝えできたこの事業を評価する。

公園行政について

問 開発事業において緑を残したい地権者の意向の反映は。

答 協議をしながら進めていく。

その他質問

- ◇農業振興
- ◇無電柱化
- ◇交通事業者支援
- ◇集会施設



これまでのワクチンの取組の評価は？地域医療の担い手である医師会との連携は？



自由民主党西東京市議団 坂井 かずひこ

問 これまでのワクチンの取組をどのように評価しているか。

答 8月25日時点でのVRSの速報値で接種対象人口の52.6%の方が1回目接種を終えられ、40.0%の方が2回目接種を終えられており、計画していた8月末までの接種回数はすでに達成し、順調に進行しているものと認識している。

問 西東京市の自宅療養者への食料支援がニュースで取り上げられていたが、自宅療養者の方へのパルスオキシメーターの必要性が高まっていると感じている。会派としてこれまでも地域医療の担い手である医師会との連携を求めてきたが、検討状況は。

答 西東京市医師会に協力を求めているところ、医師会から市にパルスオキシメーター100台を貸与いた

けることになった。9月3日から先行して実施している食料支援のスキームを活用し、希望する世帯の方にパルスオキシメーターを貸与させていただくめどが立った。

問 12歳から15歳の方への接種について、市の状況は。

答 希望される12歳以上の方は、7月16日以降、市内診療所・クリニックでご相談できる体制とした。



パルスオキシメーター

キャッシュレス25%還元事業の再実施を!! 石神井川遊歩道への足元灯、来年度設置へ。



自由民主党西東京市議団 稲垣 裕二

地方創生臨時交付金

問 今回の交付金の使途制限は。

答 事業者支援分の追加交付である。

意見 事業者支援という視点で内容を整理し、今定例会中に補正予算として早急に対応していただきたい。

キャッシュレスポイント還元事業

問 効果はあったが、PR不足ではなかったのか。年度内に再度実施することを検討すべきでは。

答 執行状況を見定めて検討する。

石神井川に足元灯の設置

問 以前にも言ったが、都は西東京市からの申し出があれば、川の両サイドの通路への足元灯の占有許可を出すことは可能である。石神井川遊歩道の照明設置のその後の協議は。

答 照明設置については、間隔や規模を検討し設置に向け都と協議する。

意見 来年度予算に反映し、来年度

中に工事完了することを望む。

災害時仮設トイレについて

問 簡易トイレの確保数は計画に反映されているが仮設トイレの状況は。

答 建築現場で使用する機材を借りられるよう努めている。

意見 災害時は1,400台以上必要になると思われるが、いくつ確保できているのかわからず、大きな問題だ。具体的に検討せよ。改めて確認する。



石神井川遊歩道

西東京市のみどりの将来像について 通学路での交通事故から子ども達を守る



自由民主党西東京市議団 田中 のりあき

問 市内にある屋敷林について、所有者の意向があった場合、特別緑地保全地区に指定する考えがあるのか、市長の考えを問う。

答 本市の特別緑地保全地区指定の考え方は、公有地である特別緑地保全地区は「公園空白地域を埋める施設」として位置付けている。特別緑地保全地区の指定は、財政負担と共に、地域における緑の状況等により、指定の判断を行う。

問 特別緑地保全地区の指定を行う場合、国や都の補助は活用できないのか。

答 東京都からは、特別緑地保全地区の買取りに活用できる可能性のある国及び都の補助金があると聞いている。引き続き、財源確保や民間管理等、新たな手法を調査する。

問 今年6月28日、千葉県八街市の

通学路で下校途中の児童5人が死傷する事故が発生し、文科省では通学路の総点検の通知を行ったが、西東京市の取組状況と今後の対応スケジュールを問う。

答 緊急総点検は、7月5日から3日間行い、対策が必要な箇所の抽出を行った。抽出した箇所を整理した上で、警察や道路管理者と連携し、対策の検討を進める。



* VRS (Vaccination Record System、ワクチン接種記録システム) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に当たり、個人の接種状況を記録するシステム。「接種者情報」と「接種記録情報」により、いつ・どこで・どのワクチンを接種したか記録される。